

〔ユニットバス専用換気扇〕

三菱ダクト用換気扇

形名

VD-10ZUC-IN 〈局所換気タイプ〉

VD-10ZLUC-IN 〈24時間換気機能付タイプ〉

据付説明書

販売店・工事店様用

据付けを始める前にこの説明書をよくお読みになり、正しく安全に据付けてください。

別冊の「取扱説明書」はお客様用です。必ずお渡しください。

■据付け、壁穴工事はお買上げの販売店・工事店様が実施してください。

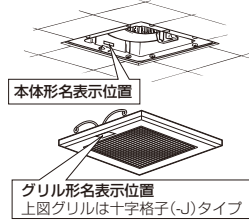
■電気工事は電気工事の方が実施してください。

■この製品は、ユニットバスの天井に据付けてください。それ以外の用途には使用しないでください。故障の原因となります。

■この製品には市販の埋込スイッチ、またはシステム部材のコントロールスイッチが必要です。その他屋外フードなどは三菱換気送風機総合カタログにより別途ご用意ください。

■当社製以外の電子式スイッチ（半導体制御による速調スイッチ・タイマーなど）やホタルスイッチをご使用の場合は組合せ上、不具合の発生するおそれがありますので、ご使用の際はあらかじめご確認ください。

■接続ダクトは外形寸法図に示すダクト径の塩化ビニル管・アルミフレキシブルダクト・銅板管のいずれかをご用意ください。



1. 安全のために必ず守ること

誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

	警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性のあるもの		注意	誤った取扱いをしたときに、軽傷または家屋・家財などの物的損害に結びつくもの
--	-----------	-----------------------------------	--	-----------	---------------------------------------

本文中や本体に使われている図記号の意味は次のとおりです。

	禁止		水ぬれ禁止		分解禁止		感電注意
	指示に従う		アース確認				

警告	
<p> 禁止</p> <ul style="list-style-type: none"> ●内釜式風呂を据付けた浴室には据付けられない 排気ガスが浴室内に逆流し、一酸化炭素中毒をおこす原因。 ●浴室内にコントロールスイッチを設けない 感電の原因。 ●ガス漏れに気付いたときは、換気扇のスイッチの入切をしない 爆発・引火の原因。 	<p> 指示に従う</p> <ul style="list-style-type: none"> ●交流 100V を使用する 直流や交流 100V 以外を使用すると感電の原因。 ●メタルス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの木造の造営物に金属製ダクトが貫通する場合、金属ダクトとメタルス、ワイヤラス、金属板とが電氣的に接触しないよう据付ける 漏電した場合発火の原因。
<p> 水ぬれ禁止</p> <ul style="list-style-type: none"> ●製品に直接水やお湯、かび取り剤などをかけない ショート・感電の原因。 	<p> 感電注意</p> <ul style="list-style-type: none"> ●電気工事の際、裸線に接触しない 感電の原因。
<p> 分解禁止</p> <ul style="list-style-type: none"> ●改造や工具を必要とする分解はしない 火災・感電・けがの原因。 分解・修理は修理技術者のいる販売店または当社のお客さま相談窓口にご相談ください。 	<p> アース確認</p> <ul style="list-style-type: none"> ●アースを確実に取付ける 故障や漏電のときに感電の原因。

注意	
<p> 禁止</p> <ul style="list-style-type: none"> ●直接炎のあたるおそれのある場所や有機溶剤・可燃性ガスのある場所には据付けられない 火災の原因。 ●台所・厨房・飲食店など、熱気や油煙が発生する場所には据付けられない 本体・部品の落下によるけがの原因。 ●中性洗剤以外の洗剤・殺菌剤・消毒剤を頻繁に使用する場所には据付けられない 本体・部品の落下によるけがの原因。 	<p> 指示に従う</p> <ul style="list-style-type: none"> ●据付けの際は必ず手袋を着用する けがの原因。 ●本体の据付けは十分強度のあるところを選んで確実に行う 落下によるけがの原因。 ●部品の据付けは確実にを行う 落下によるけがの原因。 ●電気工事は電気設備技術基準や内線規程に従って安全・確実にを行う 接続不良や誤った電気工事は感電・火災の原因。

2. 据付け前のお願い

据付け

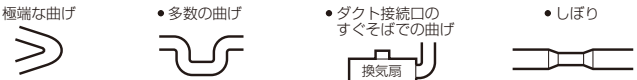
- プラスチックボディタイプダクト用換気扇およびダクト用システム部材の使用については、地区により異なった規制を受ける場合がありますので、あらかじめ所轄の官公庁（特に消防署）にご相談ください。
- 高温（40℃以上）になるところには据付けしないでください。早期故障の原因となります。
- 温泉には据付けしないでください。腐食（落下）、漏電（感電）、早期故障の原因となります。
- 業務用24時間風呂のような常時湿気のある場所では寿命が短くなる場合があります。
- 漏電ブレーカーを取付けてください。
- 効果的な換気を行うために給気口を設けてください。
- 傾斜天井には据付けしないでください。シャッター開閉不良、振動、異常音の原因となります。
- 製品上部を断熱材などで覆わないでください。早期故障の原因となります。
- グリルを取りはずしやすくするためグリル側面と部屋の壁面を150mm以上離し、製品を据付けてください。

据付場所

- 浴室など湿気の多い場所では、グリルから水滴が落ちてても不快にならない場所に据付けてください。

天井・ダクト工事

- 天井材は、振動・共鳴音防止のため強度のあるものをご使用ください。
- 排気ダクトは雨水の浸入やドレン水の逆流を防ぐため屋外に向けて1/100以上の下り勾配をつけてください。
- 排気ダクトの先端には、鳥などの侵入を防ぐためのベントキャップ、または雨水の浸入を防ぐための深形フード、外風が強いところでは耐外風フードなどのシステム部材を据付けてください。
- 次のようなダクト工事はしないでください。風量低下や異常音発生の原因となります。
 - 極端な曲げ
 - 多数の曲げ
 - ダクト接続口のすぐそばでの曲げ
 - しぼり



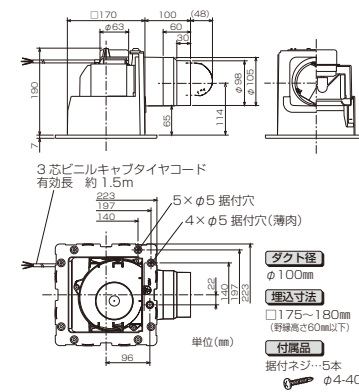
お願い …VD-10ZLUC-INの場合

- 24時間換気機能を得るためには下記点に留意ください。
- 排気口が外風の影響を受ける場所（高層住宅など）には据付けしないでください。風量が低下し、換気量が不足するおそれがあります。

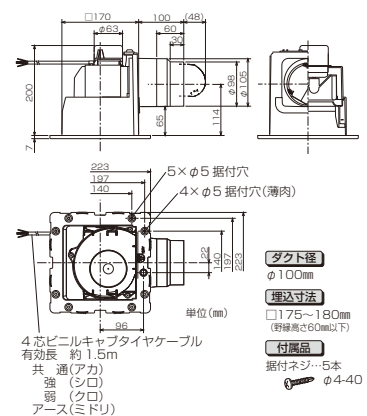
3. 外形寸法図

3-1. グリル別売タイプ本体

■VD-10ZUC-IN



■VD-10ZLUC-IN

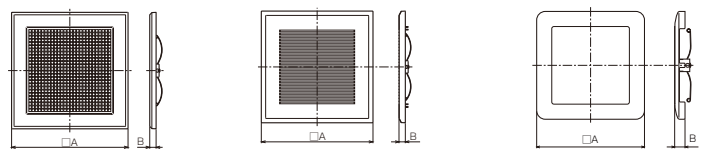


3-2. 別売グリル

■十字格子(-J)タイプ

■インテリア格子(-C、-CB)タイプ

■フラット(-T)タイプ



■適応表

本体形名	グリル形名	グリル名称	色調	変化寸法(mm)		
				A	B	開口面積 (cm ²)
VD-10ZUC-IN VD-10ZLUC-IN	P-180GBa-J	十字格子タイプ	クールホワイト	250	15	159
	P-180GBa-C	インテリア格子タイプ	クールホワイト	250	18	184
	P-180GBa-CB		ライトベージュ			
	P-180GB-T	フラットタイプ	クールホワイト	250	24	86

4. 据付方法

お願い

- 本体フランジが天井材の下になるように据付けてください。

1 ダクト工事

(1) 壁排気穴から本体のダクト接続口位置までダクト配管する。

■据付例



- ダクトは本体内の結露水を排出するため屋外に向けて1/100以上の傾斜をつけてください。
- ダクトは本体に力が加わらないよう天井より吊ってください。

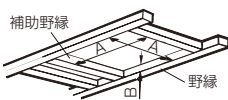
(2) ダクトを天井から吊る。

お願い

- ダクト接続口に力が加わらないようにダクトを吊ってください。(力が加わるとシャッター開閉不良・風漏れの原因となります。)

2 天井材の開口と据付枠の組立て

内寸Aが175~180mm、高さ寸法Bが60mm以下(天井材厚さ含む)になるよう天井の野縁と補助野縁で据付枠を組む。



お願い

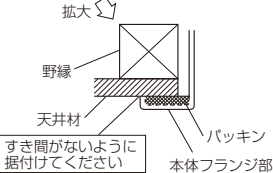
- 本体の据付けは天井材と本体フランジ部との間にすき間がないように据付けてください。(天井材と本体フランジ部が密着しないと天井面とグリルの間にすき間が生じる場合があります)

■パッキン材を使用する場合

- 天井材と本体フランジ部の間にパッキン材を使用する場合は薄いもの・軟らかいものを使用し、据付状態ですき間がないようにしてください。

■補強板を使用する場合

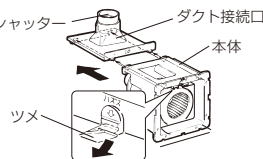
- 天井面と本体フランジ部との間に補強板を入れる場合には、厚さが1mm以下のものをご使用ください。



3 本体の据付け①(本体とダクト接続口を分離して据付ける場合)

ダクト接続口の取りはずし

- 本体よりダクト接続口を取りはずす。
 - 本体内側のツメを矢印の方向に押さえながらダクト接続口を本体から取りはずします。

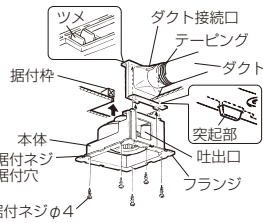


ダクト接続口の固定

- ダクト接続口を天井開口部に据付ネジ(1本)で固定する。
- 風漏れのないよう市販のアルミテープなどでダクト接続部をテーピングする。

本体の固定

- 本体の吐出口をダクト接続口に密着させて本体を天井開口部に挿入する。
 - 上部はダクト接続口の角穴に本体上部のツメを、下部はダクト接続口の角穴に本体下部の突起部を「パチン」と音がするまではめ込みます。
- 本体を固定する。
 - 本体がダクト接続口に密着していることを確認してから、付属の据付ネジ(4本)で本体をすき間のないよう確実に固定します。



お願い

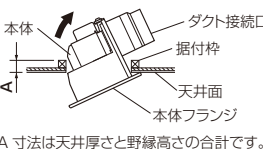
- 本体を天井に据付ける時に、据付ネジ据付穴から天井面を覗いて、天井開口部側面から十分距離をとった場所に据付ネジで本体を据付けてください。天井開口部側面近くに据付ネジを締め付けると、強度が十分確保できない場合があります、本体が落下するおそれがあります。

3 本体の据付け②(VD-10ZUC-INの据付けでA寸法が40mm以下の場合)

本体とダクト接続口を一体で据付け可能です 本体を天井開口部に挿入する

お願い

- 羽根を持って本体の据付けを行わないでください。(本体に羽根があたり、異常音の発生や羽根破損の原因となります)



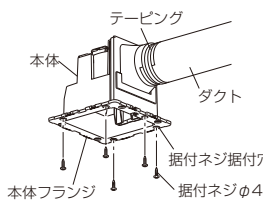
※A寸法は天井厚さと野縁高さの合計です。

本体の固定

- 本体がダクト接続口に密着していることを確認してから、付属の据付ネジ5本で本体をすき間のないようにしっかり固定する。
- 風漏れのないよう市販のアルミテープなどでダクト接続部をテーピングする。

お願い

- 本体を天井に据付ける時に、据付ネジ据付穴から天井面を覗いて、天井開口部側面から十分距離をとった場所に据付ネジで本体を据付けてください。天井開口部側面近くに据付ネジを締め付けると、強度が十分確保できない場合があります、本体が落下するおそれがあります。

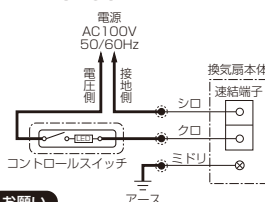


4 電気工事

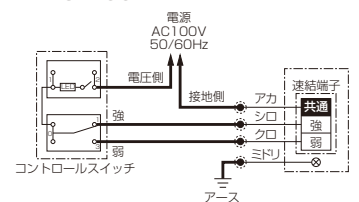
電線同士の接続や接地工事を行う場合は電気工事士の方が「電気設備に関する技術基準を定める省令(および同解説)」および「内線規程」に従い実施してください。

■結線図(太線部分を結線する)

VD-10ZUC-IN



VD-10ZLUC-IN



お願い

- 結線間違いや異電圧印加などの誤結線を行いますとモーターが故障します。誤結線によるモーター故障の場合、サービス費用(交換部品代含む)はおお客様のご負担となりますので結線図を十分確認の上、結線してください。
- 結線図の ● 部分の接続部は市販のジョイントボックスに収めてください。

■適応コントロールスイッチ

本体形名	コントロールスイッチ	
	形名	定格
VD-10ZUC-IN	P-11SW2	0.5A-AC300V

本体形名	コントロールスイッチ	
	形名	定格
VD-10ZLUC-IN	P-04SWLBs	0.5A-AC300V

- コントロールスイッチ(ランプ付)の仕様により、「強」「弱」切替えてランプの点灯が薄くなったりちらついたりすることがありますが異常ではありません。

■結線の前に



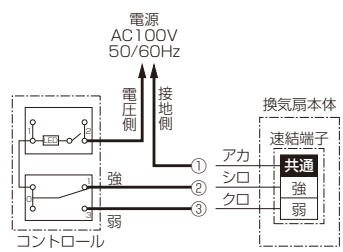
裸線に接触しないよう十分注意してください。

- 据付・点検・修理時に電線の裸線部に手を触れないでください。
- 電源電線は、接続部に力が加わらないように、たるみをもたせて、本体上部のモーターに接触しないようにしてください。

●電圧チェック表(VD-10ZLUC-INの場合)

- 製品と結線する前に、電源電線の線間電圧が下表の電圧であることを確認してください。

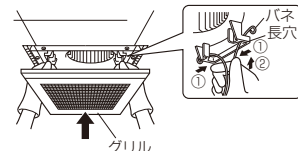
スイッチ	線間電圧(V)	
	測定部 ①-②	①-③
切	0	0
入-強	100	0
入-弱	0	100



5 グリルの据付け

この製品はシステム部材の別売グリルが必要です。別途ご用意ください。

- グリルのパネを指先で締め長穴に差し込む。パネは本体側へ片側ずつ差し込むとスムーズに据付けられます。
- 手を放し軽くグリルを押し上げ天井材に密着させる。

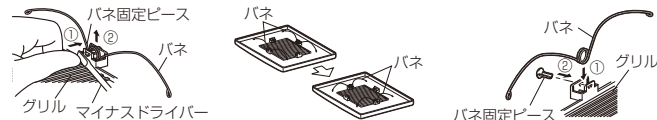


5. グリルの調整

グリルの据付け方向を変える場合(インテリア格子(-C,-CK)タイプ)

- グリルの据付け方向を90°変更できます。

- マイナスドライバーの先端でパネ固定ピースを矢印①の方向に押しグリルより抜き取りパネをはずす。
- パネの位置を90°変更して据付け、パネをパネ固定ピースで固定する。
 - パネ固定ピースは「パチン」と音がするまで挿入して、抜けないことを確認してください。



6. 試運転

■試運転時に、次のような症状があれば点検してください。

こんなとき	原因	点検・処置
電源スイッチを入れても羽根が回転しない	分電盤のブレーカーが「切」になっている	ブレーカーを「入」にする
強/弱どちらか動かない	正しく結線されていない	結線を確認する(スイッチ部/電源線接続部) ※換気扇にAC100Vが供給されていることを確認する ※ 4. 電気工事 の電圧チェック表を確認する
運転中に異常な音や振動がする	本体・グリルが確実に据付けられていない	正しく据付け直す
	羽根・グリルに異物が付着している	異物を取り除く
	本体の固定(ネジ止め)が弱い	本体の固定を確認する
	換気風路の抵抗が大きい(ガラリ・アンダーカット)	ガラリ・アンダーカットを開けて給気する
	換気風路の抵抗が大きい(ダクト配管)	ダクトのつぶれ、急な曲がりやを修正する
	換気風路の抵抗が大きい(屋外フード)	屋外フードのほこりを清掃する(特にリフォーム時)
	羽根が本体に接触している	羽根をモーター方向に押し込む